令和元年度さとやま整備活用促進事業

令和元年7月３１日

里山活動についての情報発信―多様な主体による里山活動の促進

竹材の利用普及を目的としたパンフレットの作成

住所　千葉県袖ケ浦市長浦拓2号580-148

商号又は名称　特定非営利法人ちば里山センター

代表者名　　　　金親　博榮　　　印

|  |
| --- |
| 「里山活動についての情報発信―多様な主体による里山活動の促進」  「竹材の利用普及を目的としたパンフレットの作成」 |
| １　目的  今般の「令和元年度さとやま整備活用促進事業」の趣旨を踏まえ、県内森林（里山）の整備を促進するとともに、多くの県民がその実態に触れ、その重要性を理解を促進する諸行事を実施することで、かけがえのない森林を未来に引き継ぐことを目指す。 |
| ２　基本方針  　県内森林（里山）の場合、竹林におおわれ、整備活動においても竹林伐採が主な活動になっている場合も多い。その中でも伐竹を利用して竹チップ、竹粉、メンマ製造、竹細工、竹クラフト等利用の幅は生活用品、食品、玩具類にまで及ぶ。竹を利用して豊かな暮らしに結びついている材として竹材を利活用するパンフレットを作成して配布する。 |
| ３　概要  里山活動において発生する間伐材や竹材等を活用の取り組みを促進することとし、県内の様々な利用の実態を把握し、団体に所属する会員の知恵を結集する作業として編集作業を行い、パンフレットにまとめる。  パンフレットの普及促進については、市民を対象とした竹材を利用した竹細工、クラフト等の参加型イベント等で配布するとともに、竹材に親しんでもらう。 |
| ４　企画内容  　竹材活用パンフレット（見開き2ページでワンテーマとする）  　１　竹炭　２　竹チップ・竹パウダー　３　生活の器製作　４　竹灯籠  　５　竹紙つくり　６　クラフト　高学年用　７　竹クラフト　低学年用　など  　体裁　A5判　16ページ　中綴じ  　色　　両面カラー  　用紙　表紙・本文　コート紙　90キロ |
| ５　添付資料  　　別紙添付 |

別紙１

１　製作物の内容概略

①　竹炭をつくる

　　炭窯でつくる

　　炭化器でつくる

　②　竹炭を利用する

　　　土壌改良で利用

　　　竹炭と工芸品

　③　竹酢液を取る

　　　竹酢液とは

　　　竹酢液の利用

　④　竹材をチップとして活用する

　　　細粒チップに加工して土壌改良

　　　粗めのチップで利用活用

　⑤　生活の器つくり

　　　竹かご、ザル、箕、ほうき

　⑥　竹灯ろうをつくる

　　　竹灯ろうアラカルト

　⑦　竹の垣根つくり

　　　四つ目垣、三つ目垣など

　⑧　昔の竹道具

　　　○○、○○、○○

　⑨　子ども向けクラフト（1）

　　　竹コップ、竹の剣玉、竹の笛、ウグイス笛など

　⑩　子ども向けクラフト（2）

　　　箸、フォーク、スプーン、ナイフ

別紙２

photo

photo

photo

photo

photo

photo

　　4ページ

竹炭の利用法①

竹炭の利用法②

竹炭の芸術品

　　3ページ

竹炭をつくる

竹炭かまど焼き

炭化器による竹炭製造